

今回公募を行うプログラムの概要

別紙1

1

プログラム名	研究開発の概要	研究開発費※ (年度当たりの上限額)	研究開発期間
社会展開指向型 研究開発	IoT/BD/AI時代に対応して、実用化・社会実装を意識した、新たな価値の創造、社会システムの変革並びに地域の活性化及び課題の解決に寄与するICTの研究開発 3 年 枠 実行可能性や実現可能性の検証等を実施(フェーズⅠ)した上で、選抜評価を経て、更に、最長2年間の研究期間で実用化・社会実装に向けた研究開発を実施(フェーズⅡ)するもの	フェーズⅠ： 300万円 フェーズⅡ： 1000万円	フェーズⅠ： 1か年度 フェーズⅡ：最長2か年度
電波有効利用促進型 研究開発	電波の有効利用に資する先進的かつ独創的な研究開発	【先進的電波有効利用型】 フェーズⅠ： 500万円 フェーズⅡ： 3000万円	フェーズⅠ： 1か年度 フェーズⅡ：最長2か年度
	電波を用いたIoTシステムの構築や社会展開を促進する新たなワイヤレスビジネスの創出を意識した研究開発	【先進的電波有効利用型 (社会展開促進型)】 フェーズⅡ： 3000万円	フェーズⅡ：最長2か年度

※ 別途間接経費(直接経費の30%を上限)を配分。

プログラム名	採択評価の主な観点
社会展開指向型研究開発	<p>【3年枠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研究開発の内容が先進的なものであるか。 ○ 研究開発成果が、ICTによる新たな価値の創造や社会システムの変革に寄与するものか。 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的には、研究開発成果によって、社会的・経済的課題を情報通信技術の面から解決できるか。 ○ 研究開発手法が妥当であるか。 ○ 研究開発目的が社会的課題の解決に資する等、妥当なものであるか。 <ul style="list-style-type: none"> ・具体的には、地域の活性化や課題の解決に資する等、技術実証・社会展開を意識したものであるか。
電波有効利用促進型研究開発	<p>【先進的電波有効利用型】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい電波利用の実現に向けた研究開発か。 ○ 以下のいずれかの技術であって、おおむね5年以内に開発される技術として到達目標が明確に設定されているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・周波数を効率的に利用するための技術 ・周波数の共同利用を促進するための技術 ・高い周波数への移行を促進するための技術 <p>【先進的電波有効利用型(社会展開促進型)】上記に加え、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電波を用いたIoTシステム構築を目指した研究開発や新たなワイヤレスビジネスの創出や社会実装を意識した研究開発課題か。

詳細は、提案要領及び評価の手引を御参照ください。